
水産流通適正化法に係る電子システム対策委託事業のうち
漁獲番号等伝達システム等開発業務

産地卸売市場実態把握報告書

2021/06/16

株式会社電縁

目次

1	本書について.....	1
2	産地卸売市場実態把握について	2
2.1	目的	2
2.2	把握内容.....	2
2.3	調査対象.....	2
3	調査対象選定.....	3
3.1	ナマコ、アワビの水揚げ上位都道府県.....	3
3.2	都道府県レベル選定	3
3.3	漁協、支所レベル選定.....	4
3.3.1	北海道(ナマコ).....	4
3.3.1	青森県(ナマコ).....	5
3.3.1	山口県(ナマコ).....	6
3.3.1	岩手県(アワビ).....	7
3.3.1	千葉県(アワビ).....	8
3.3.1	三重県(アワビ).....	9
4	調査実施	10
4.1	調査票	10
4.2	調査日程.....	10
5	調査結果.....	11
5.1	取引のパターン	11
5.1.1	事前入札型共同販売	12
5.1.2	事後入札型共同販売	13
5.1.3	事前協議型共同販売	14
5.1.4	事後協議型共同販売	14
5.1.5	市場取引	15
5.1.6	直接取引	16
5.2	伝票作成、システム入力の状況	16
5.3	システムベンダー	17

1 本書について

本書では、水産流通適正化法に係る電子システム対策委託事業のうち漁獲番号等伝達システム等開発業務において実施する産地卸売市場実態把握について、調査の対象選定、実施方法、調査結果などを説明いたします。

2 産地卸売市場実態把握について

産地卸売市場実態把握の概要について説明します。

2.1 目的

産地卸売市場実態把握は、本事業で漁獲番号等伝達システムを開発、実証するにあたり、各産地市場の流通形態に適した水産流通適正化法への対応方法、標準的に使用されるシステムの在り方などを検討するための材料として現状の取引手順等を把握することを目的に実施しました。

2.2 把握内容

産地市場において、円滑に漁獲番号を発行し、買受人等へ伝達する負担を軽減する方法を検討するという観点の下、産地市場において、対象魚種が水揚げされてから買受人等へ販売されるまでの手続について、主な手続のパターンを把握しました。

2.3 調査対象

ナマコ、アワビについて、漁獲量が多い各 3 都道府県の産地市場各 5 か所を対象に調査を行いました。各産地市場では、漁業者、市場開設者(漁協等)、買受人等を調査対象としました。

3 調査対象選定

産地卸売市場実態把握の調査対象となる産地市場の選定方法、選定結果について説明します。

3.1 ナマコ、アワビの水揚上位都道府県

ナマコ、アワビそれぞれの水揚上位 10 都道府県は、図 3-1 の通りです。

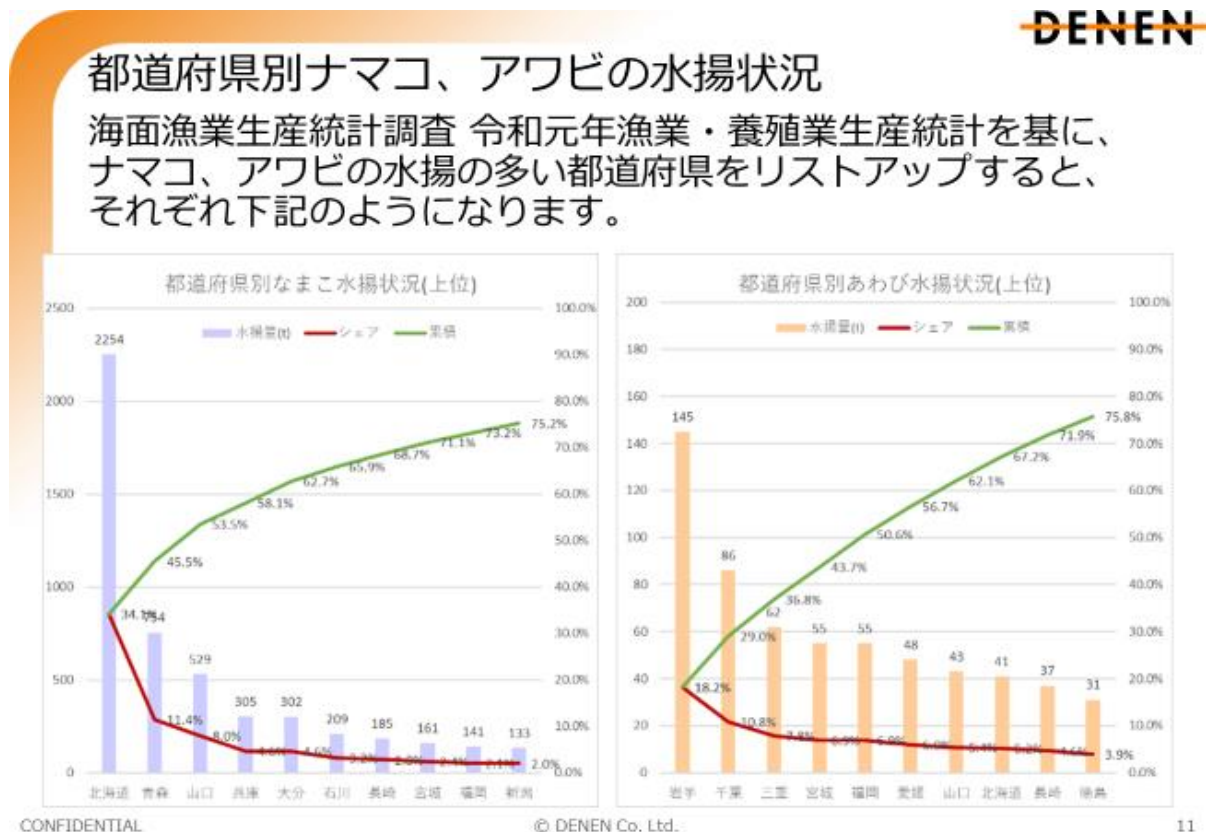


図 3-1 都道府県別ナマコ、アワビの水揚状況

ナマコの上位 3 道県は、北海道、青森県、山口県で、この 3 道県で国内水揚の 50%を超えるシェアとなっています。

アワビの上位は岩手県、千葉県、三重県で、この 3 県で国内水揚の 36.8%を占めており、4 位宮城県、5 位福岡県までを含めると 50%を超えます。

調査対象は、水揚量に対するカバレッジを考慮し、上位の道県に高い優先度をつけて選定しました。

3.2 都道府県レベル選定

対象地域の選定の第 1 段階として、都道府県レベルでの選定を行いました。

ナマコ、アワビの水揚量の多い各 3 道県について、道県庁、道県漁連(県漁協)にコンタクトして快諾を得て、それぞれで対象にする 5 市場を推薦してもらいました。

北海道については、5 市場への絞り込みにあたり、道内 20 漁協(支所)に対して事前調査を実施し、流通形態、協力意向などを把握して選定しています。

3.3 漁協、支所レベル選定

各同県、漁連(漁協)の協力を受けて、対象とする各 5 市場の候補選定、交渉を行い、それぞれ確定しました。

3.3.1 北海道(ナマコ)

北海道庁に 20 か所の 1 次候補を選定していただいて事前調査を実施し、その結果を受けて 5 か所に絞り込み、それぞれに協力を依頼して承諾を得ました。



図 3-2 対象地選定(北海道、ナマコ)

新型コロナウイルス感染の拡大があり、稚内漁協のみが訪問での調査を希望し、他はリモートでの調査実施を希望しました。

3.3.1 青森県(ナマコ)

青森県庁に5か所の漁協、支所を選定していただいて、それぞれに協力を依頼して承諾を得ました。

DENEN

対象地別状況 - 青森県

■対象地

- ①蓬田村漁協(訪問)
- ②平内町漁協小湊支所(訪問)
- ③平内町漁協清水川支所(訪問)
- ④野辺地町漁協(訪問)
- ⑤むつ市川内漁協(リモート)

■現地訪問

5/13 蓬田村漁協
平内町漁協小湊支所
野辺地町漁協
平内町漁協清水川支所

■FAX回答(依頼済み)

むつ市川内漁協



CONFIDENTIAL

© DENEN Co. Ltd.

5

図 3-3 対象地選定(青森県、ナマコ)

蓬田村漁協、平内町漁協(小湊支所、清水川支所)、野辺地町漁協が訪問での調査を希望し、むつ市川内漁協はリモートでの調査実施を希望しました。

3.3.1 山口県(ナマコ)

山口県庁に 5 か所の統括支店を選定していただいて、それぞれに協力を依頼して承諾を得ました。



図 3-4 対象地選定（山口県、ナマコ）

新型コロナウイルス感染の拡大があり、周南統括支店のみが訪問での調査を希望し、他はリモートでの調査実施を希望しました。

3.3.1 岩手県(アワビ)

岩手県庁に5か所の漁協を選定していただき、それぞれに協力を依頼して承諾を得ました。



図 3-5 対象地選定(岩手県、アワビ)

新型コロナウイルス感染の拡大があり、久慈市漁協、重茂漁協、唐丹町漁協が訪問での調査を希望し、田老町漁協、船越湾漁協はリモートでの調査実施を希望しました。

3.3.1 千葉県(アワビ)

千葉県庁に5か所の漁協を選定していただき、それぞれに協力を依頼して承諾を得ました。

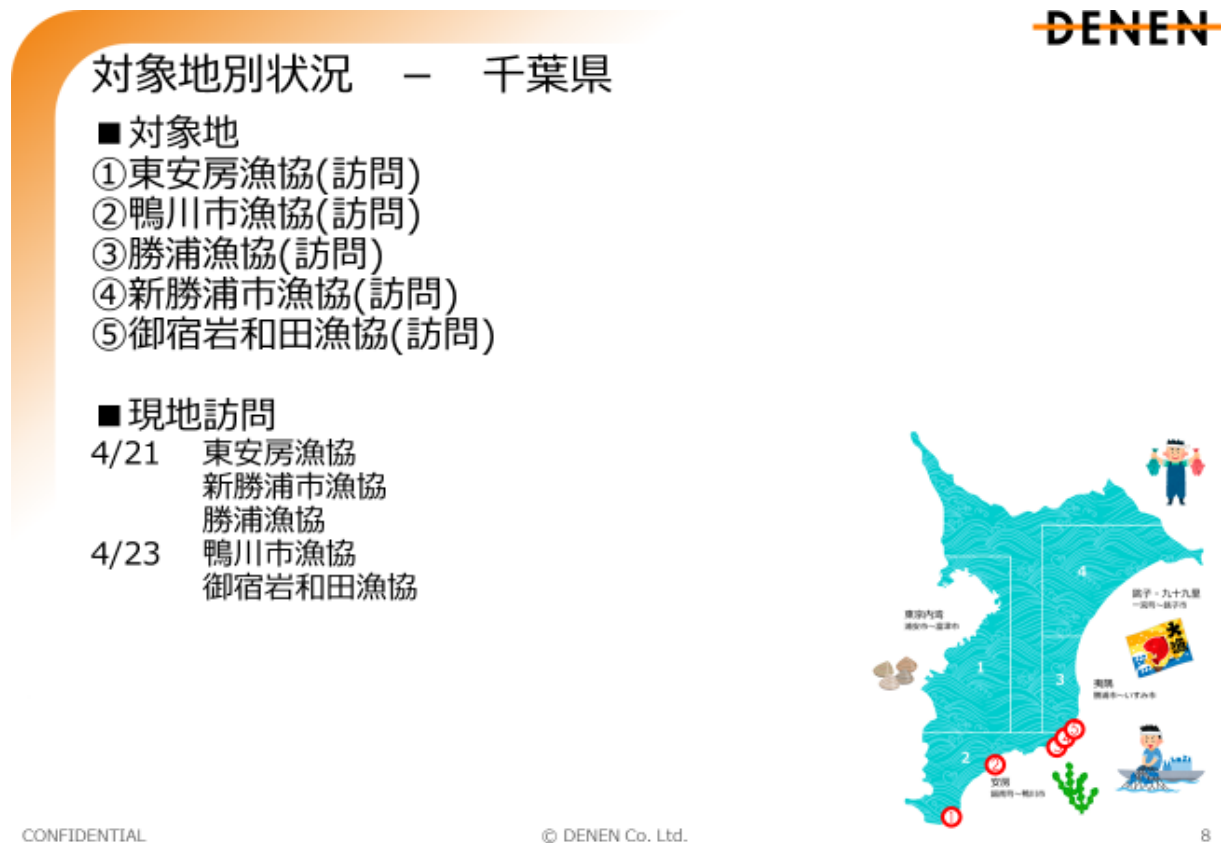


図 3-6 対象地選定（千葉県、アワビ）

5 漁協全てに訪問して調査を実施しました。

3.3.1 三重県(アワビ)

三重県庁に5か所の漁協、支所、事業所を選定していただき、それぞれに協力を依頼して承諾を得ました。



図 3-7 対象地選定（三重県、アワビ）

5 漁協、支所、事業所全てに訪問して調査を実施しました。

4 調査実施

各地に対する調査の実施について説明します。

4.1 調査票

調査は、別紙の調査票に沿って実施しました。

4.2 調査日程

調査は、以下の日程にて実施しています。

対象魚種	都道府県	漁協(支店、支所、事業所)	訪問	リモート	
			訪問日	依頼日	受領日
ナマコ	北海道	稚内漁協	6/2		
		枝幸漁協	Web 会議		5/25
		北るもい漁協		5/15	5/27
		石狩湾漁協		5/15	5/28
		森漁協		5/15	5/21
	青森県	蓬田村漁協	5/13		
		平内町漁協小湊支所	5/13		
		平内町漁協清水川支所	5/13		
		野辺地町漁協	5/13		
		むつ市川内漁協		5/15	5/21
	山口県	山口県漁協周南統括支店	5/27		
		山口県漁協吉佐統括支店		5/15	5/21
		山口県漁協本店		5/15	5/21
		山口県漁協長門統括支店		5/15	5/17
		山口県漁協はぎ統括支店		5/15	5/25
アワビ	岩手県	久慈市漁協	5/12		
		田老町漁協		5/15	5/24
		重茂漁協	5/12		
		船越湾漁協		5/15	5/21
		唐丹町漁協	5/11		
	千葉県	東安房漁協	4/21		
		鴨川市漁協	4/23		
		勝浦漁協	4/21		
		新勝浦市漁協	4/21		
		御宿岩和田漁協	4/23		
	三重県	鳥羽磯部漁協本所	5/21		
		鳥羽磯部漁協石鏡支所	5/21		
		鳥羽磯部漁協国崎漁協	5/21		
		三重外湾漁協波切事業所	5/17		
		三重外湾漁協和具事業所	5/17		

表 4-1 産地卸売市場実態把握 調査日程

5 調査結果

5.1 取引のパターン

各漁協への調査の結果から、ナマコ、アワビの取引手順は、図 5-1 のようなパターンに分類できると考えられます。



図 5-1 取引パターンの分類

各パターンの手順の概要、採用状況については、表 5-1 のようになっています。

事前入札型共同販売	事前入札によって価格、販売先を決める方式で、漁協が集荷して一括で引渡	稚内漁協(ナマコ)、石狩湾漁協(ナマコ)、蓬田村漁協(ナマコ)、平内町漁協(ナマコ)、久慈市漁協(アワビ)、田老町漁協(アワビ)、重茂漁協(アワビ)、船越湾漁協(アワビ)、唐丹町漁協(アワビ)、鳥羽磯部漁協(ナマコ、アワビ)、三重外湾漁協(ナマコ、アワビ)、山口県漁協本店(ナマコ)
-----------	------------------------------------	---

事後入札型共同販売 (集約後一括取引)	事後入札によって価格、販売先を決める方式で、漁協が集荷して一括で入札、引渡	森漁協(ナマコ、アワビ)、川内町漁協(アワビ)、平内町漁協(アワビ)、東安房漁協(ナマコ、アワビ)、勝浦漁協(ナマコ、アワビ)、新勝浦市漁協(ナマコ)、御宿岩和田漁協(アワビ)、三重外湾漁協(ナマコ、アワビ)、はぎ統括支店(ナマコ)
事後入札型共同販売 (集約後分割取引)	事後入札によって価格、販売先を決める方式で、漁協が集荷して入札、入札額が高い順に引渡	鴨川市漁協(アワビ)、新勝浦市漁協(アワビ)、鳥羽磯部漁協(ナマコ、アワビ)
事後入札型共同販売 (個別取引)	事後入札によって価格、販売先を決める方式で、漁協が集荷して漁業者ごとに入札、引渡	野辺地町漁協(ナマコ、アワビ)
事前協議型共同販売	事前協議によって価格、販売先を決める方式で、漁協が集荷して一括で引渡	枝幸漁協(ナマコ)、川内町漁協(ナマコ)、久慈市漁協(ナマコ)、田老町漁協(ナマコ)、重茂漁協(ナマコ)、船越湾漁協(ナマコ)、唐丹町漁協(ナマコ)
事後協議型共同販売	事後協議によって価格、販売先を決める方式で、漁協が集荷して一括で引渡	
市場取引	市場での競りによって価格、販売先を決める方式で、市場が集荷して個別に競り、引渡	北るもい漁協(アワビ)、蓬田村漁協(アワビ)、平内町漁協(アワビ)、鴨川市漁協(ナマコ)、周南統括支店(ナマコ、アワビ)、吉佐統括支店(ナマコ、アワビ)、長門統括支店(ナマコ、アワビ)、はぎ統括支店(ナマコ、アワビ)
事前協議型直接取引	事前協議によって価格、販売先を決める方式で、漁業者が直接買受人に引渡	北るもい漁協(ナマコ)、周南統括支店(ナマコ)、吉佐統括支店(ナマコ)
事後協議型直接取引	事後協議によって価格、販売先を決める方式で、漁業者が直接買受人に引渡	

表 5-1 取引パターンの採用状況

5.1.1 事前入札型共同販売

入札を事前に行って販売価格、販売先を決め、漁協が集荷して、集荷したものをひとまとめに引き渡す方法での取引です。

取引フロー - 事前入札型共同販売

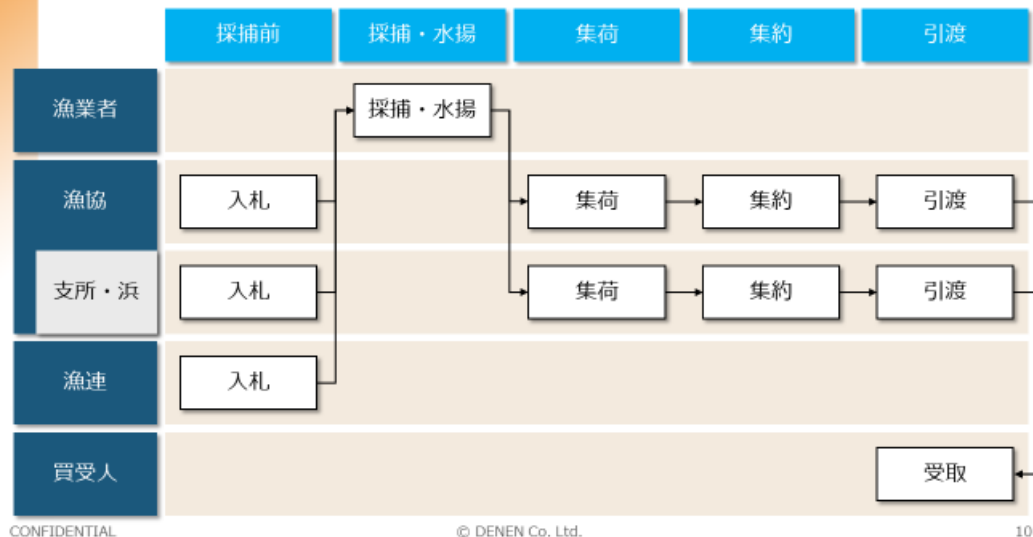


図 5-2 取引フロー - 事前入札型共同販売

5.1.2 事後入札型共同販売

水揚げ、集荷後に入札を行って販売価格、販売先を決め、集荷したものをひとまとめに引き渡す方法での取引です。

取引フロー - 事後入札型共同販売

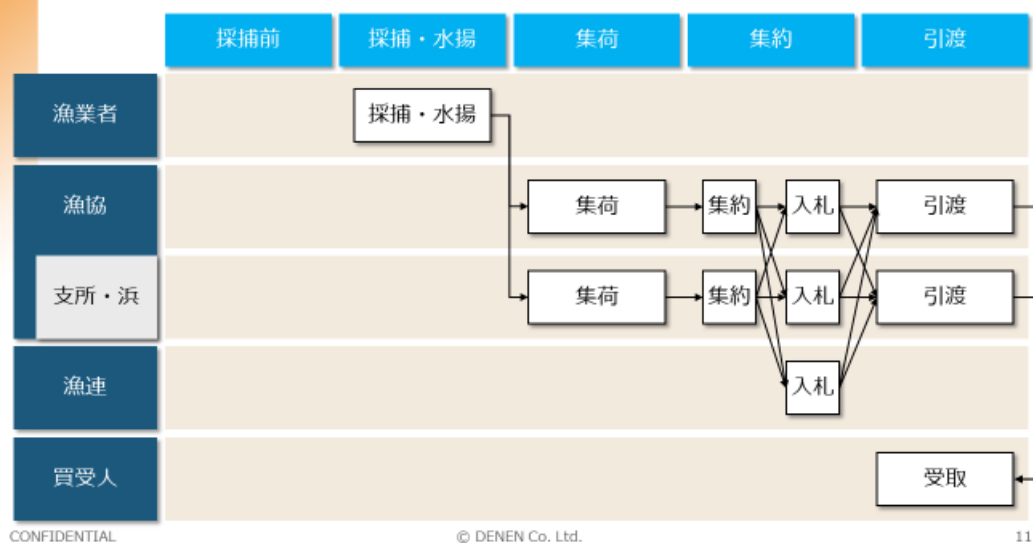


図 5-3 取引フロー - 事後入札型共同販売

5.1.3 事前協議型共同販売

買受業者との事前協議によって販売価格を決め、集荷したものをひとまとめに引き渡す方法での取引です。

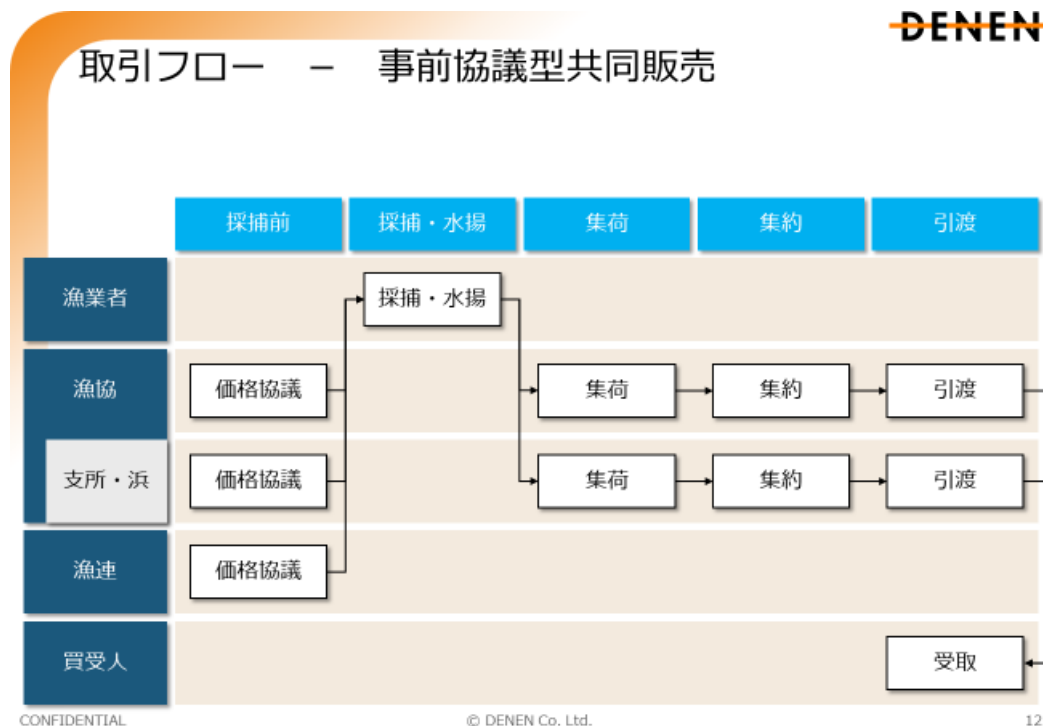


図 5-4 取引フロー — 事前協議型共同販売

5.1.4 事後協議型共同販売

水揚げ後に買受業者との協議によって販売価格を決め、集荷したものをひとまとめに引き渡す方法での取引です。

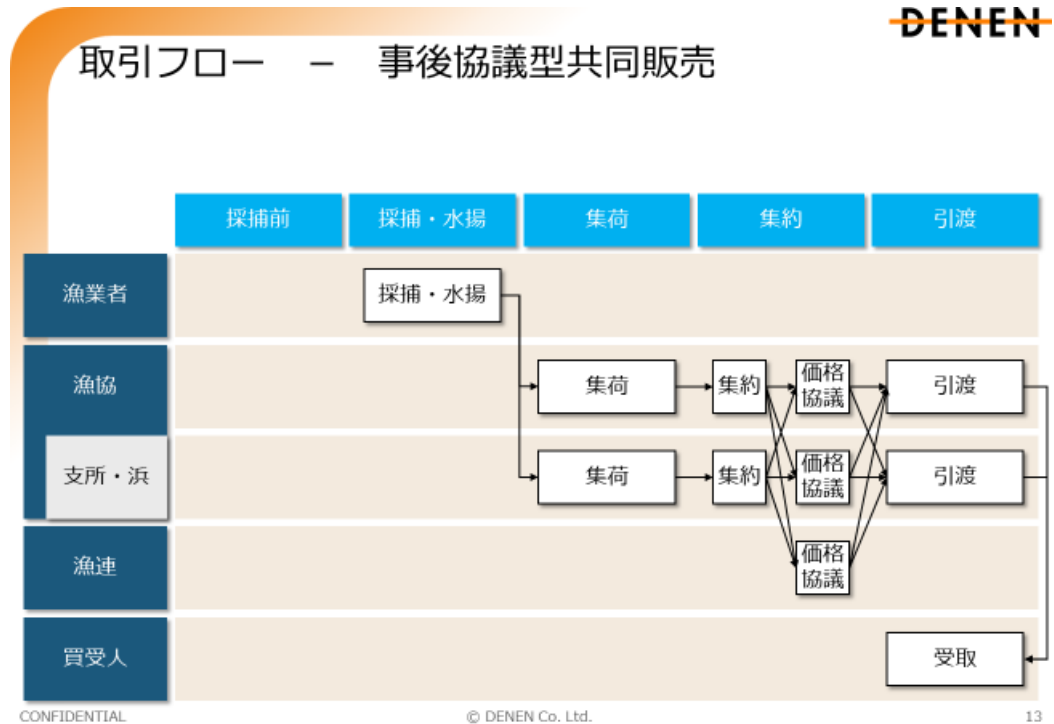


図 5-5 取引フロー - 事後協議型共同販売

5.1.5 市場取引

水揚げ後に魚市場での競りによって販売価格、販売先を決め、競り後に引き渡す方法での取引です。

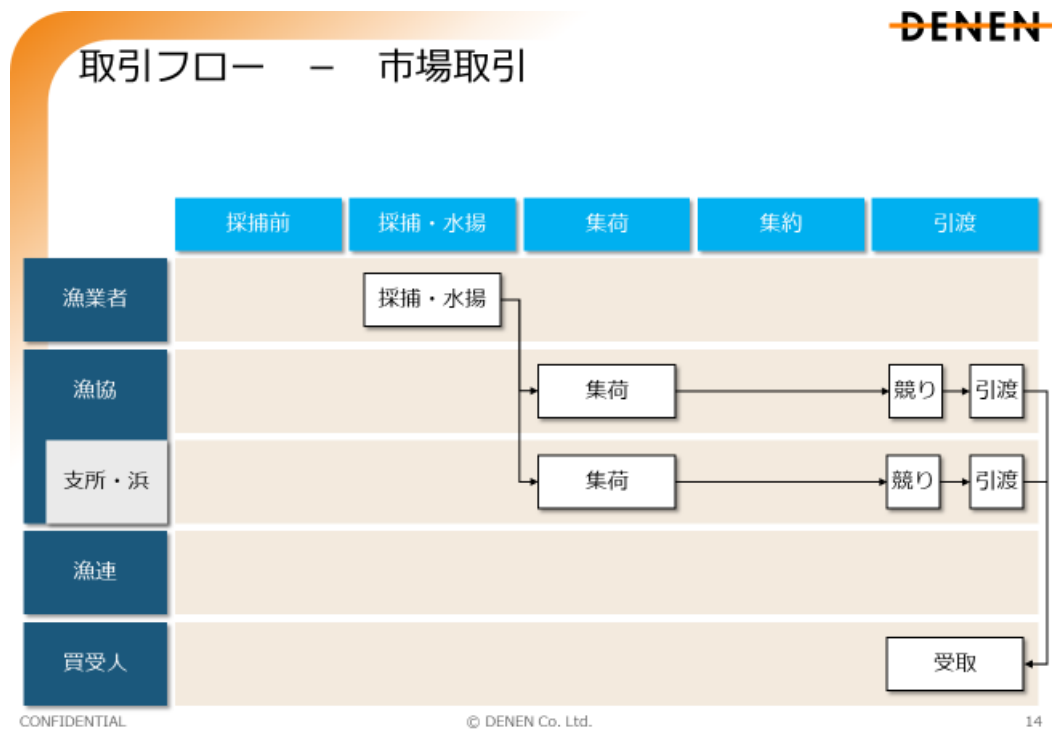


図 5-6 取引フロー - 市場取引

5.1.6 直接取引

漁業者が買受業者との直接交渉によって販売価格を決め、水揚げ後に引き渡す方法での取引です。



図 5-7 取引フロー - 直接取引

5.2 伝票作成、システム入力状況

各漁協から買受業者にナマコ、アワビを譲り渡す際に作成している伝票、それに関連して行っているシステム入力について典型的な手順と、漁獲番号の伝達への対応案について、表 5-2 のように整理することができます。

伝票作成、システム入力	漁獲番号伝達への対応案	該当漁協
出荷時に取引情報をシステム入力して出力される仕切伝票、納品伝票、請求書等を買受業者に FAX、手渡し等する。	取引情報を入力すると漁獲番号を自動で発番するようにシステムを改修し、仕切伝票、納品伝票、請求書等に出力されるようにする。	稚内漁協(ナマコ)、枝幸漁協(ナマコ)、北るもい漁協(ナマコ)、森漁協(ナマコ)
集荷・引渡時に受渡内容を荷受伝票、仕切書、受渡伝票等に記載して、(漁業者、漁協、買受業者が写しを受け取り、)漁協はその情報を販売システム等に入力する。	荷受伝票、仕切書、受渡伝票等を作成する際に漁獲番号を発番し、手書きする。 荷受時の計量を電子秤で行い、漁獲番号を含むレシートを印刷して渡す。	石狩湾漁協(ナマコ)、森漁協(ナマコ)、川内町漁協(ナマコ)、周南統括支店(ナマコ)、吉佐統括支店(ナマコ)、山口県漁協本店(ナマコ)、はぎ統括支店(ナマコ)、長門統括支店(ナマコ)

県漁連共販用の受渡報告書に受渡内容を手書きして、買受業者、県漁連、漁協がそれぞれ写しを受け取り、漁協はその情報を販売システム等に入力する。	漁獲番号は予め分かるので、用意しておいて受渡報告書に手書きし、取引情報と共にシステムに入力する。	久慈市漁協(アワビ)、田老町漁協(アワビ)、重茂漁協(アワビ)、船越湾漁協(アワビ)、唐丹町漁協(アワビ)
入札後に取引情報をシステム入力して出力される納品伝票、仕切書、請求書等を買受業者に FAX、手渡し等する。	取引情報を入力すると漁獲番号を自動で発番するようにシステムを改修し、納品伝票、仕切書、請求書等に出力されるようにする。	蓬田村漁協(ナマコ)、野辺地町漁協(ナマコ)、東安房漁協(アワビ)、鴨川市漁協(アワビ)、勝浦漁協(アワビ)、新勝浦市漁協(アワビ)、御宿岩和田漁協(アワビ)、鳥羽磯部漁協(アワビ)、三重外湾漁協(アワビ)
タブレットで行った入札の結果から仕切伝票等が出力され、業者に FAX、手渡し等する。	入札結果から取引情報を生成する際に漁獲番号を自動で発番するようにシステムを改修し、仕切伝票等に出力されるようにする。	平内町漁協(ナマコ)

表 5-2 伝票作成、システム入力の現状と漁獲番号伝達への対応案

5.3 システムベンダー

全国の漁協の 75%程度が西日本情報システムのシステムを利用しておりますが、ナマコ、アワビの産地の漁協では若干傾向が異なり、北海道で日本事務機、東北でシンエイシステムが強く、地元企業に依頼の例も多くなっています。

西日本情報システム	周南統括支店(ナマコ)、吉佐統括支店(ナマコ)、山口県漁協本店(ナマコ)、長門統括支店(ナマコ)、はぎ統括支店(ナマコ)、東安房漁協(アワビ)、御宿岩和田漁協(アワビ)、鳥羽磯部漁協(アワビ)、三重外湾漁協(アワビ)
日本事務器	稚内漁協(ナマコ)、枝幸漁協(ナマコ)、北るもい漁協(ナマコ)、石狩湾漁協(ナマコ)、森漁協(ナマコ)
シンエイシステム	平内町漁協(ナマコ)、田老町漁協(アワビ)、重茂漁協(アワビ)、船越湾漁協(アワビ)、
ジーテック	蓬田村漁協(ナマコ)、野辺地町漁協(ナマコ)
プラムシックス	勝浦漁協(アワビ)、新勝浦市漁協(アワビ)
大崎コンピュータエンジニアリング	鴨川市漁協(アワビ)
東北エム・ビー平金	久慈市漁協(アワビ)
JFIT	唐丹町漁協(アワビ)